

北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	下部消化器外科手術における術後感染予防抗菌薬の適正使用に向けた手術室薬剤師の処方提案効果:単施設後方視的観察研究
当院の研究責任者 (所属・職位)	北里大学病院 医療安全推進室・課長補佐 富澤 淳
他の研究機関および各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	<p>手術部位の感染症を予防するために、手術時に適切に抗菌薬を使用することが重要です。日本における2018年度の大腸および直腸手術に関する手術部位の感染症発生率は、10.6%および13.4%でしたが、この発生率は各医療機関で異なります。</p> <p>北里大学病院(以下、当院)では、日本化学療法学会から発刊されております手術部位感染症を予防するための抗菌薬実践ガイドラインに従い、手術の術式に応じた抗菌薬や投与量を定めておりましたが、他の施設では、薬剤師の介入により手術時に使用される抗菌薬の適正使用に貢献した報告も散見されておりました。当院では2019年6月より薬剤師が手術室に常駐することに伴い、手術室薬剤師による抗菌薬の適正使用に向けた処方提案を開始しました。</p> <p>そこで、今回、手術室薬剤師の処方提案効果を把握するため、手術室薬剤師の処方提案前後における下部消化器外科の手術部位の感染症発生率などを調査します。</p>
調査データ 該当期間	2017年10月1日から2019年3月31日までと2019年10月1日から2021年3月31日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	上記期間内に手術を施行し、AMPが投与された方
研究の方法 (使用する試料等)	<p>利用する情報</p> <p>2017年10月1日から2019年3月31日までと2019年10月1日から2021年3月31日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。</p>
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始する 予定日	利用又は提供開始予定日: 研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報には削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は、北里大学薬学部 臨床薬学研究・教育センター 薬物治療学 の研究費を使用します。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。

お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位：医療安全推進室 課長補佐 担当者：富澤 淳(トミザワ アツシ) 電話：042-778-8124</p>
備考	なし